

「赤旗」宣伝スポット

2026年8・9月

こんにちは。日本共産党が発行する「しんぶん赤旗」のお勧めにまいりました。確かな情報、真実を伝え、希望を運ぶ「しんぶん赤旗」を、ぜひ、お読みください。

※「しんぶん赤旗」日刊紙は、1カ月3497円。週刊の「赤旗」日曜版は、1カ月990円です。日刊、日曜版とも、スマホで読める電子版もあります。スクープ連発、政治を動かす「しんぶん赤旗」を、ぜひ、お読みください。

●熊本の大地震、千葉の豪雨など、災害が続いています。救援、復旧・復興に全力をつくし、被災者の命と暮らしを守る政治の責任が問われています。被災者支援と災害対策の抜本的強化を求める「しんぶん赤旗」を、ぜひお読みください。

●沖縄の米軍新基地をめぐり、政府のウソが明るみにできました。「辺野古新基地をつくただけでは普天間基地は返さない」とアメリカに言われていたのに、30年にわたり国民に隠してきたのです。政府のウソを暴き、基地問題解決の展望を示す「しんぶん赤旗」を、お読みください。

●イランに戦争を仕掛けたトランプ政権。アメリカにつき従って「戦争する国づくり」を進める高市政権。「戦争は絶対にダメ!」と、平和を求める動きが広がっています。平和の輪を広げる「しんぶん赤旗」を、ぜひ、お読みください

●イラン戦争や円安で、原材料や燃料の値上がりが続き、中小企業の経営が深刻です。雇用の7割を支える中小企業を倒産や廃業から守る支援が急務です。暮らしと地域経済を守る「しんぶん赤旗」を、ぜひお読みください。

●自民と維新が狙う衆院定数削減は、多様な民意を切り捨てるものです。国民の願いとかけ離れた政治をひどくし、民主主義を壊します。暴挙を許さないたたかいを伝える「しんぶん赤旗」を、ぜひ、お読みください。

※繰り返し

●アメリカは、日本にさらに軍事費を増やすよう求めています。軍事費ばかり増やせば、暮らしや福祉、教育に回す予算が削られてしまいます。アメリカにも正面からものを言う「しんぶん赤旗」を、ぜひ、お読みください。

●高市政権が、無理やり皇室典範を変えたのは、「男系男子による皇位継承」を絶対化するためです。しかし、日本の「象徴」である天皇が「男性でなければならぬ」という理由はありません。天皇問題でも憲法にもとづいて報じる「しんぶん赤旗」を、ぜひ、お読みください。

●働く人は苦しいのに、大株主と大企業は大もうけ。税金も優遇されています。不公平な仕組みを変えれば、消費税減税や社会保障、教育の予算も確保できます。「富の一極集中」にズバリ切り込む「しんぶん赤旗」を、ぜひ、お読みください。

●核兵器禁止条約の署名・締約国が100カ国になりました。日本も核兵器禁止条約に加わり、核兵器廃絶の先頭に立つべきです。「核兵器のない世界」をめざす「しんぶん赤旗」を、ぜひ、お読みください。

※繰り返し

●猛暑や豪雨など、異常気象の影響が深刻です。日本共産党は、「気候危機打開のための2030戦略」を打ち出し、二酸化炭素排出ゼロに向けた実効性ある対策を求めています。気候危機打開をめざす「しんぶん赤旗」を、お読みください。

●日本のコメ農家は、この20年で3分の1に激減しています。政府が、農家をまともに支援せず、食料の安定供給に責任を持たないからです。食の安心・安全を確保する「しんぶん赤旗」を、ぜひ、お読みください。

●選択的夫婦別姓や同性婚の実現など、ジェンダー平等を求める動きが広がっています。誰もが人間らしく尊厳を持って生きられるジェンダー平等社会を目指す「しんぶん赤旗」を、ぜひ、お読みください。

●囲碁・将棋の新人王戦は、プロ棋士の登竜門として注目されています。囲碁の力遼（いちりき・りょう）名人、将棋の藤井聡太竜王・名人も新人王経験者です。新人王戦を主催する「しんぶん赤旗」を、ぜひ、お読みください。

※繰り返し